

施策評価シート

【施策の概要】

登録者(課長)名【1】		道路建設課長 中野 英道	
主管課(関係課)【2】		道路建設課(道路管理課、都市計画課、企画政策課)	
施策名【3】		分野【4】	
安1-2 道路・交通網の整備		快適で魅力的な都市空間で暮らすために	
安全で快適に暮らすまちづくり		まちづくりの方向性【5】	
概要		施策全体の課題【6】	
<p>本市では、道路整備の遅れを指摘する声が多く、市民意識調査(平成24年9月)においても、「安全で歩きやすい道路環境」の重要度が高くなっています。安全で利便性の高い道路や交通機関の存在は、魅力的な都市であるための条件の一つです。</p> <p>今後は、安全で快適な道路・交通環境を確保するため、計画的に道路ネットワークの形成を行うとともに、交通管理者と連携した交通対策による安全で快適な道路の整備や自転車と歩行者、車が共存する安全な道路環境への取組が求められています。</p> <p>さらに、公共交通空白地域・不便地域を補う「はなバス」の運行に取り組むとともに、交通事業者、NPOなどの多様な主体と連携し、バリアフリー化、交通結節点の利便性の向上、ユニバーサルデザインの配慮など、人にやさしい公共交通及び関連施設の充実を図る必要があります。</p>		<p>施策実現へむけたキーワード【7】</p> <p>◆安全で利便性の高い道路網の構築 ◆自転車と歩行者、車が共存する道路環境への対応</p> <p>だれもが日常生活で利便性、安全性、快適性を享受できる総合的な道路・交通環境づくりを進めます。</p>	
留意すべき点(都などの制度の変化・その他制約条件・社会環境の変化)【9】			
◇特になし			
事業群		事業群の施策上の位置づけ【11】	
1	体系的な道路網の整備を進めます	安全で利便性の高い道路網の構築	
2	体系的な交通網の整備を図ります	路線バスやコミュニティバス等による公共交通網の整備	
3	歩行者、自転車、車が共存するまちづくりに取り組みます	歩行者、自転車、車が共存する道路環境の整備	

【施策の成果】

			年度	24	25	26	27	28	29	
成果指標【12】	指標1	名称	「円滑な車両交通のための道路・交通網の整備」に対する満足度	目標値	31%			単位	%	
		算出式・説明	市民が安全で快適に移動できるように、市が行う「円滑な車両交通のための道路・交通網の整備」の取組に対する評価を、市民意識調査の「市民満足度」により把握します。	実績値	26.7	26.7	26.7	25.7		
		達成率		86%	86%	86%	83%			
	指標2	名称	市内の都市計画道路整備率	目標値	46%			単位	%	
		算出式・説明	安全で快適な道路交通環境を充実させるうえで、都市計画道路の整備は重要です。市内の都市計画道路整備率を高めることを目標とします。	実績値	34.9	39	41			
		達成率		76%	85%	89%	0%			
	指標3	名称		目標値				単位		
		算出式・説明		実績値						
		達成率								
	指標4	名称		目標値				単位		
		算出式・説明		実績値						
		達成率								
達成率の平均値					81%	86%	88%	42%		

【市民意見】【13】

24年度		27年度	
満足度(%)	26.7%	満足度(%)	25.7%
満足度(平均ポイント)	-0.53	満足度(平均ポイント)	-0.52
重要度(%)	82.5%	重要度(%)	83.9%
重要度(平均ポイント)	1.32	重要度(平均ポイント)	1.39

各年次の市民意識調査で、施策ごとの「満足、やや満足」「重要、やや重要」の合計値として算出しています。

【一次評価】

検証項目	施策の成果と課題	施策成果の目標達成状況【14】	<input type="checkbox"/> まだ未達成	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成	<input type="checkbox"/> 目標を大きく上回る	
		意識調査での満足度【15】	<input checked="" type="checkbox"/> 平均を下回る	<input type="checkbox"/> ほぼ平均	<input type="checkbox"/> 平均を上回る	
検証項目	今後の方針	施策の重要性の変化【17】	<input type="checkbox"/> 弱くなっている	<input checked="" type="checkbox"/> 以前と同程度	<input type="checkbox"/> 強くなっている	
		意識調査での重要度【18】	<input type="checkbox"/> 平均を下回る	<input type="checkbox"/> ほぼ平均	<input checked="" type="checkbox"/> 平均を上回る	
総合評価	今後の方針	施策内容の方向性【20】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 絞込み	
		施策実施コストの方向性【21】	<input type="checkbox"/> 重点化	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 効率化	
		施策実施方針【22】	V	成果を維持しつつ、コストも現状を維持する施策領域		
説明【23】						
【一次評価後の事情変更等】						
【行革本部評価】						
総合評価	施策内容の方向性【20】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 絞込み		
	施策実施コストの方向性【21】	<input type="checkbox"/> 重点化	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 効率化		
	判断理由等【24】	道路・交通網の整備については、体系的な道路整備として、西東京都市計画道路3・2・6号線や3・4・11号線の整備が進み、市内都市計画道路の整備率も目標値に近づきつつあります。また、都内の都市計画道路を計画的かつ効果的に整備するため、東京都と市区町の協議を踏まえた「東京における都市計画道路の整備方針(第四次事業化計画)」が策定されました。一方、体系的な交通網の整備としては、新たな都市計画道路の整備を契機として路線バスの東伏見駅への乗り入れなどの誘致を進めるほか、田無駅北側の市道に自転車専用通行帯を整備するなど利便性・安全性の充実に努めてきました。しかしながら、市内における道路ネットワーク全体の整備率が低いこともあり、市民意識調査結果では、満足度が全施策中で最も低いことから、引き続き都市計画道路と生活道路の整備を着実に進めながら、道路整備の進捗状況を視野に入れた計画的な交通網の整備に努めるべきと判断しました。				
	施策実施方針【22】	V	成果を維持しつつ、コストも現状を維持する施策領域			

【施策内の事務事業貢献度判定】

安1-2 道路・交通網の整備

事業群	名称【25】	担当課【26】	概要【27】	総コスト(千円) ：評価年度【28】			事務事業 の評価 (直近)【29】	26市の サービス 水準との 比較【30】	施策における位置づけ【31】	貢献度 【32】
				事業費	人件費					
1	西東京都市計画道路3・4・15号線の整備	道路建設課	保谷駅北口へのアクセスを推進し、市内北部地域の交通円滑化及び利便性や交通安全を図ります。 道路延長：597m 道路幅員：16m	8,096	4,802	3,294	継続実施 (平成21年度)	下	保谷駅北口のまちづくりの骨格となる本路線を整備することにより、市民の生活における利便性・安全性の向上を図ることができます。	B
	西東京都市計画道路3・4・17号線の整備検討	道路建設課	東伏見駅南口と西3・3・3号線(青梅街道)を結び、東伏見駅南口へのアクセスを向上させます。第四次事業計画において優先的な整備路線の位置付けを踏まえ、現在、整備を進めている路線の進捗状況を見ながら事業実施時期を検討して行きます。	0	0	0			東伏見駅周辺のまちづくりの骨格となる本路線を整備することにより、市民生活に置ける利便性・安全性の向上を図ることができます。	B
	西東京都市計画道路3・4・18号線の整備検討	道路建設課	西武柳沢駅北口から西3・4・11号線を南北方向に結ぶネットワークを形成します。西武柳沢駅北口から西3・5・4号線(新青梅街道)まで、第四次事業計画において優先的な整備路線の位置付けを踏まえ、現在、整備を進めている他の路線の進捗状況を見ながら事業実施時期を検討して行きます。	0	0	0			西武柳沢駅のまちづくりの骨格となる本路線を整備することにより、市民生活における利便性・安全性の向上を図ることができます。	B
	西東京都市計画道路3・4・24号線の整備検討	道路建設課	田無駅南口へのアクセスを向上させます。田無駅南口から西3・5・2号線まで第四次事業計画において優先的な整備路線の位置付けを踏まえ、現在、整備を進めている他の路線の進捗状況を見ながら事業実施時期を検討して行きます。	0	0	0			田無駅南口のまちづくりの骨格となる本路線を整備することにより、市民生活における利便性・安全性の向上を図ることができます。	B
	西東京都市計画道路3・5・10号線の整備	道路建設課	西3・4・20号線(谷戸新道)と西3・4・25号線とのネットワークを結び、東西方向のアクセスの強化を図ります。 道路延長：380m 道路幅員：12m	209,370	206,900	2,470	事業化 (平成21年度)	—	ひばりが丘団地周辺のまちづくりの骨格となる本路線を整備することにより、市民生活における利便性・安全性の向上を図ることができる。	B
	市道の新設改良事業の実施	道路建設課	市民の安全性・利便性・防災面に配慮した市道の新設改良・拡幅その他必要な工事を行います。	217,747	201,279	16,468	継続実施 (平成23年度)	上	市内の道路を整備することにより、市民生活における利便性・安全性の向上を図ることができます。	B
	向台町三丁目・新町三丁目地区地区計画関連周辺道路の整備	道路建設課	向台町三丁目・新町三丁目地区地区計画周辺道路について、安全快適な道路空間の確保を目指し、歩行空間のネットワーク化と車両交通の円滑化を図るため、当該周辺の道路整備を進めます。	368,101	359,867	8,234	継続実施 (平成21年度)	中	当該地区の道路を整備することにより市民生活における利便性・安全性の向上を図ることができます。	B
	公共インフラ保全事業の実施	道路建設課	橋梁長寿命化修繕計画に基づき、利用者の安全確保を行ないながら、定期的に点検を実施し、計画的な修繕を行い、橋梁の長寿命化を図ります。また、従来行ってきた劣化・損傷の顕在化による修繕等に係る費用の縮減を図ります。	9,639	7,992	1,647			定期的な点検を実施し、計画的な維持修繕を行うことにより、橋の長寿命化を行ない費用の縮減ができます。	B
	踏切道拡幅事業の実施	道路建設課	西東京市道路整備計画の中で、長期的には立体交差による踏切の解消を検討していますが、歩行者の安全確保を目的とした短中期的な対策を実施する必要があるため、西東京市都市計画マスタープランに基づくまちづくりの実現に向けた交通網の整備として、国土交通省の「緊急踏切」並びに東京都で位置づけられた「重点踏切」箇所について早期の対策効果が得られる箇所について調査・研究を行います。	0	0	0	事業化 (平成21年度)	—	踏切を拡幅整備することにより、歩行者の安全確保と渋滞解消など交通網の整備が図れます。	B
公共インフラ保全事業の実施	道路管理課	落下や倒壊による第三者被害を防止する観点から、橋梁等施設の健全性の点検を行います。	0	0	0			定期的な点検により、劣化・損傷の状況を把握し、修繕していくことで利用者の安全確保を行います。	B	
2	はなバスの運行	都市計画課	公共交通空白地域・不便地域の解消と公共施設等へのアクセスの向上を図り、市民の交流を促進するため、コミュニティバスを運行します。	99,002	89,121	9,881	改善・見直し (平成25年度)	上	公共交通空白地域・不便地域にコミュニティバスを運行することにより、体系的な公共交通網の整備が図られます。	A
	鉄道の連続立体交差化に向けた調査・研究	企画政策課	事業主体は東京都となることから、都に対して早期事業化を要望している。事業実現に向けては、関係機関への要望活動や、事業課題等の調査・研究を行ないます。	0	0	0			西武新宿線、西武池袋線ともに連続立体交差化により渋滞緩和が図られ、地域における経済効果も見込まれます。	—
3	自転車を活用したまちづくりに向けた調査・研究	道路管理課	環境にやさしい自転車利用の利便性の向上と推進及び自転車専用通行帯整備等の調査・研究を行います。	0	0	0			市内の各駅にアクセスする道路に自転車専用通行帯等を設置することで、市民生活における利便性・安全性の向上を図ることができます。	B

事業群	名称【25】	担当課【26】	概要【27】	総コスト(千円) ：評価年度【28】			事務事業 の評価 (直近)【29】	26市の サービス 水準との 比較【30】	施策における位置づけ【31】	貢献度 【32】
				事業費	人件費					
1	西東京都市計画道路3・4・15号線の整備	道路建設課	保谷駅北口へのアクセスを推進し、市内北部地域の交通円滑化及び利便性や交通安全を図ります。 道路延長：597m 道路幅員：16m	8,096	4,802	3,294	継続実施 (平成21年度)	下	保谷駅北口のまちづくりの骨格となる本路線を整備することにより、市民の生活における利便性・安全性の向上を図ることができます。	B
	西東京都市計画道路3・4・17号線の整備検討	道路建設課	東伏見駅南口と西3・3・3号線(青梅街道)を結び、東伏見駅南口へのアクセスを向上させます。第四次事業計画において優先的な整備路線の位置付けを踏まえ、現在、整備を進めている路線の進捗状況を見ながら事業実施時期を検討して行きます。	0	0	0			東伏見駅周辺のまちづくりの骨格となる本路線を整備することにより、市民生活に置ける利便性・安全性の向上を図ることができます。	B
	西東京都市計画道路3・4・18号線の整備検討	道路建設課	西武柳沢駅北口から西3・4・11号線を南北方向に結ぶネットワークを形成します。西武柳沢駅北口から西3・5・4号線(新青梅街道)まで、第四次事業計画において優先的な整備路線の位置付けを踏まえ、現在、整備を進めている他の路線の進捗状況を見ながら事業実施時期を検討して行きます。	0	0	0			西武柳沢駅のまちづくりの骨格となる本路線を整備することにより、市民生活における利便性・安全性の向上を図ることができます。	B
	西東京都市計画道路3・4・24号線の整備検討	道路建設課	田無駅南口へのアクセスを向上させます。田無駅南口から西3・5・2号線まで第四次事業計画において優先的な整備路線の位置付けを踏まえ、現在、整備を進めている他の路線の進捗状況を見ながら事業実施時期を検討して行きます。	0	0	0			田無駅南口のまちづくりの骨格となる本路線を整備することにより、市民生活における利便性・安全性の向上を図ることができます。	B
	西東京都市計画道路3・5・10号線の整備	道路建設課	西3・4・20号線(谷戸新道)と西3・4・25号線とのネットワークを結び、東西方向のアクセスの強化を図ります。 道路延長：380m 道路幅員：12m	209,370	206,900	2,470	事業化 (平成21年度)	—	ひばりが丘団地周辺のまちづくりの骨格となる本路線を整備することにより、市民生活における利便性・安全性の向上を図ることができる。	B
	市道の新設改良事業の実施	道路建設課	市民の安全性・利便性・防災面に配慮した市道の新設改良・拡幅その他必要な工事を行います。	217,747	201,279	16,468	継続実施 (平成23年度)	上	市内の道路を整備することにより、市民生活における利便性・安全性の向上を図ることができます。	B
	向台町三丁目・新町三丁目地区地区計画関連周辺道路の整備	道路建設課	向台町三丁目・新町三丁目地区地区計画周辺道路について、安全快適な道路空間の確保を目指し、歩行空間のネットワーク化と車両交通の円滑化を図るため、当該周辺の道路整備を進めます。	368,101	359,867	8,234	継続実施 (平成21年度)	中	当該地区の道路を整備することにより市民生活における利便性・安全性の向上を図ることができます。	B
	公共インフラ保全事業の実施	道路建設課	橋梁長寿命化修繕計画に基づき、利用者の安全確保を行ないながら、定期的に点検を実施し、計画的な修繕を行い、橋梁の長寿命化を図ります。また、従来行ってきた劣化・損傷の顕在化による修繕等に係る費用の縮減を図ります。	9,639	7,992	1,647			定期的な点検を実施し、計画的な維持修繕を行うことにより、橋の長寿命化を行ない費用の縮減ができます。	B
	踏切道拡幅事業の実施	道路建設課	西東京市道路整備計画の中で、長期的には立体交差による踏切の解消を検討していますが、歩行者の安全確保を目的とした短中期的な対策を実施する必要があるため、西東京市都市計画マスタープランに基づくまちづくりの実現に向けた交通網の整備として、国土交通省の「緊急踏切」並びに東京都で位置づけられた「重点踏切」箇所について早期の対策効果が得られる箇所について調査・研究を行います。	0	0	0	事業化 (平成21年度)	—	踏切を拡幅整備することにより、歩行者の安全確保と渋滞解消など交通網の整備が図れます。	B
公共インフラ保全事業の実施	道路管理課	落下や倒壊による第三者被害を防止する観点から、橋梁等施設の健全性の点検を行います。	0	0	0			定期的な点検により、劣化・損傷の状況を把握し、修繕していくことで利用者の安全確保を行います。	B	
2	はなバスの運行	都市計画課	公共交通空白地域・不便地域の解消と公共施設等へのアクセスの向上を図り、市民の交流を促進するため、コミュニティバスを運行します。	99,002	89,121	9,881	改善・見直し (平成25年度)	上	公共交通空白地域・不便地域にコミュニティバスを運行することにより、体系的な公共交通網の整備が図られます。	A
	鉄道の連続立体交差化に向けた調査・研究	企画政策課	事業主体は東京都となることから、都に対して早期事業化を要望している。事業実現に向けては、関係機関への要望活動や、事業課題等の調査・研究を行ないます。	0	0	0			西武新宿線、西武池袋線ともに連続立体交差化により渋滞緩和が図られ、地域における経済効果も見込まれます。	—
3	自転車を活用したまちづくりに向けた調査・研究	道路管理課	環境にやさしい自転車利用の利便性の向上と推進及び自転車専用通行帯整備等の調査・研究を行います。	0	0	0			市内の各駅にアクセスする道路に自転車専用通行帯等を設置することで、市民生活における利便性・安全性の向上を図ることができます。	B

【施策内の事務事業貢献度判定】

安1-2 道路・交通網の整備

事業群	名称【25】	担当課【26】	概要【27】
	駅周辺の自転車駐車場の整備・検討	道路管理課	駅周辺の自転車駐車場の整備によって、自転車を利用する市民がより安全に、快適に生活できる環境づくりを進めます。
事業の合計			

総コスト(千円) : 評価年度【28】	事務事業 の評価 (直近)【29】		26市の サービス 水準との 比較【30】	施策における位置づけ【31】	貢献度 【32】
	事業費	人件費			
0	0	0		駅周辺の自転車駐車場の整備により、安全で、快適に生活できる環境づくりに寄与しています。	B
911,955	869,961	41,994			